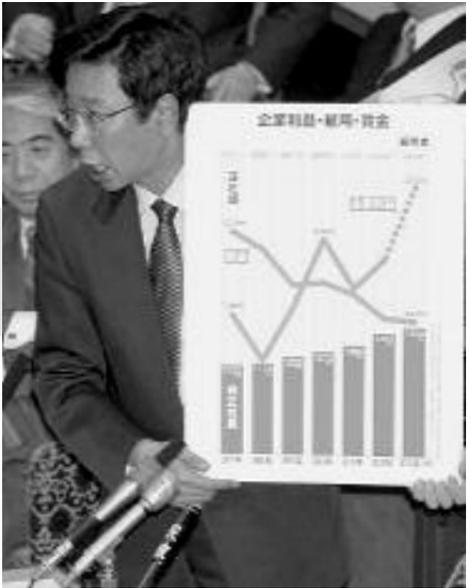


若者 使い捨て  
もうけ追求の

# 大企業応援の政策やめよ

日本共産党 大門みきし参院議員 予算委員会で政策転換を要求



私たちの声を代弁してくれてありがとう

—— 全国から共感と期待の声

「共産党がフリーターのことを取りあげてくれて、とてもうれしく思いました。働きたいと思う仕事も低賃金で選べません。議員の方々に解っていただけないと感じていたので、明るい光が見えた気持ちです」(三十歳の女性)

「フリーター問題の質問、ありがとうございました。地方のフリーターは、都会よりも大変。雇用保険も払えない」(和歌山県の女性)

「私もフリーターです。フリーターは能力がない、というのはウソだということ。共産党は主張してくれた。がんばってほしい」(東京・世田谷区の男性)

正社員の減少、急増するフリーター、派遣労働のダンピング、パートと正社員の賃金格差：年金や保険料が減少し、社会保障制度の基盤が、やせ細る状況です。日本共産党の大門みきし参院議員は三月十六日の参院予算委員会で、パートやアルバイトなどの不安定雇用を拡大させる小泉内閣の「構造改革」路線は、労働者の所得の向上や景気回復にもつながらないと追及し、大企業にいいなりの政策を転換せよと要求しました。

## 人件費を抑え、利益追求では景気回復にならない

大門議員は、政府が「景気は着実に回復している」といつているが国民、中小企業に実感が伴わないのはなぜかと指摘。「企業は利益があがっても、人件費は抑えるという戦略であり、それに沿った『規制緩和』を政府がやってきたからだ」と小泉内閣の責任は重大と強調しました。

学校教育で勤労の重要性を理解して」と意欲の問題であるかのよう合理化しました。

## 青年を安く使い捨てにする企業こそ非難されるべき

大門議員は、二カ所に人材派遣登録をしながら、月に四日間しか仕事のない女性の事例など、フリーターの実態を示し、「社会的に非常に深刻な事態をもたらす」と追及。小泉首相は「いい傾向ではない」といつつ、「人さまざまだ」「時代の変化」「学

大門議員は、フリーター増加について「社会保険・退職金は不要で会社に有利な雇用形態」「使い捨て、消耗品」(NHKのアンケート)と言いつつ、企業に対し「目先の利益を追って、若者を食い物にする」ものだと批判。フルタイムに対するパートの賃金水準も欧州では八〇%

なのに、日本は五〇%である。「日本には『パート労働指針』があるが努力目標にとどまっている」、派遣労働は「ダンピング競争で深刻な事態」と指摘。「欧州連合(EU)では正規雇用と非正規雇用の『均等待遇』をめざして『指令』を出している」と強調しました。



国の政策転換を強く求める  
坂口厚生労働相は「企業だけ悪いといつても始まらない。いろいろの法律を変えろ」といつつ「とは現実性が伴わない」と答弁。大門議員は「政府は企業側ばかり応援する政策ではなく、もつとこの国のあり方を考えて施策をとるべきだ」と批判しました。

## 自民公明民主 財界の要求通りに雇用、労働条件改悪を強行

自民・公明、民主各党は、この間、労働者の雇用と労働条件を悪化させる悪法を次々と成立させてきました。労働者のリストラで減税をする「産業再生法」の改悪と、もう一つは、低賃金・不安定雇用をひろげ、不払い残業合法化の裁量労働制

を拡大する労働基準法の再改悪です。いずれも財界が強く要求していたものです。財界はこの見返りとして巨額の政治献金を自民党に出しています。民主党も「権交代の姿勢なども基準に入れて」(岡田幹事長)と献金をねだり、トヨタ、新

日鉄、日立など各地で、企業ぐるみの選挙支援をうけています。あわせて労働者に犠牲をいつそう押しつけて、財界の利益を維持するために自民党、民主党を後押ししてアメリカ式の二大政党体制をつくらうとしています。

日本共産党  
北関東ブロック  
事務所ニュース  
2004年5月号外

